



# 東 侯 野 6月号

東侯野小学校 学校だより

平成29年6月1日

## 運動会：貴重な学びの機会

校長 村田 幹男

大勢の皆様に見守られて、運動会を無事終えることができました。

皆様からの温かい拍手や励ましのお言葉が、子どもたちは何より嬉しかったと思います。ありがとうございました。何分会場が手狭のため、ご参観にあたっては、皆様方に多大なるご協力をいただきましたことを感謝申し上げます。

今年も熱い日差しの中での運動会になりましたが、子どもたちは、よくがんばりました。徒競走、団体演技・競技、係の仕事や特別種目など、それぞれの場面で一人ひとりの子どもが一生懸命取り組む姿が見られました。みんなで協力したからこそできた集団の美しい動きも見られました。

赤白の戦いも、最後はどちらに軍配が上がるか全く分からない展開となり、472対470という大接戦の好勝負を見せてくれました。

そして、特別支援学校の子どもたちとの交流種目では、3年生が音楽に合わせてタッピングをしてふれあう活動を、5年生は大きな交流の木を協力して完成させる競技を行い、その後に全校ダンスを披露しました。来賓の皆様が「他の学校では見られないすてきな場面ですね」と言ってくださいました。

子どもたちは運動会という行事にとっても前向きに取り組めます。「すすんで」練習し「協力」する場面が多く見られるのです。今年も、休み時間に教室で曲をかけて踊っていたり、校庭でバトンパスを毎日練習していたりと、自主的にがんばっている場面をたくさん見かけました。応援団担当の先生からは、「団長さんは赤白ともにすぐに台詞を完璧に覚えてきました。すばらしいです。」といった報告も受けました。各ブロックや特別種目の練習の様子を見ていると、日に日に上達していく様子が目に見えて分かっていきます。運動会は、子どもたちにとって特別な思いがあるようで、子どもが成長する貴重な学びの機会になっていると感じます。

また、運動会にはご家族の皆さん、地域・関連機関の皆さんが大勢参観に来てくださいます。一つひとつの種目に子どもたちが安心して取り組めるように、皆さんに気持ちよく参観できるように、PTAの方々とも連携しながら、ていねいな運営を心がけていかねばならないと思っております。